

令和2年度入試【推薦入試Ⅰ】

【小論文2】

(法文学部)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は6ページである。解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

小論文2

- 1 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(東浩紀『弱いつながり』より。一部改変)

(注)

- ※1 グーグル検索…インターネット上の検索サービス。
- ※2 分子的・モル的…哲学者ドゥルーズ（1925—1995）&ガタリ（1930—1992）の提唱した概念。分子の集合的なありかた（「モル的」）と、分子の個別的なありかた（「分子的」）を指す。
- ※3 マーク・グラノヴェター（1943—）…アメリカ合衆国の社会学者。

(1) 空欄部①～⑥に当てはまる語彙を以下から選択しなさい。

- a. 内側 b. 入力 c. 外側 d. 強い e. 出力 f. 弱い

(2) 「たったいちどの人生を、かけがえのないものとして生き」るために筆者はどうすればよいと考えているか、本文の論旨を踏まえ、以下のキーワードを用いて説明しなさい。

「環境」 「矛盾」 「ノイズ」 「チャンス」

2 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(植村邦彦『市民社会とは何か』より。一部改変)

(注)

- ※1 民際…国境を越えた、民間人どうしの交流や提携。
- ※2 NGO…Non-Governmental Organization の略称。一般的には国際協力にかかわる市民団体を指し、「非政府」「非営利」「ボランタリー」「国際協力」によって活動している団体をいう。
- ※3 経済同友会…日本の企業経営者の団体。財界3団体のひとつ。
- ※4 新自由主義…政府の福祉政策に反対し、大幅な減税や規制緩和により個人や企業の経済活動を高めようとする政策上の立場。
- ※5 市場原理主義…需要と供給を調整する市場メカニズムに信頼を置き、政府の介入や規制はこれを妨げるものとして反対する思想上の立場。

- (1) 下線部①において、筆者は、坂本義和の説く「市民社会」像と経済同友会の「市民社会」像との相違に注目している。それぞれが描く「市民社会」像の特徴を説明し、相違点を明らかにしなさい。
- (2) 筆者は下線部②のように指摘しているが、福祉やまちづくり、災害救助、国際協力などの中心的な担い手が、政府からボランティアや特定非営利活動法人(NPO法人)および一般民間企業へと移ることの是非について、あなたはどのように考えますか。理由を明確にして述べなさい。